



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

## 「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年4月8日(月)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

20

令和6年4月8日の始業式で、次の話をしました。

さて今日は、令和6年度のスタートにあたって、皆さんに期待していることをお話しします。

### 1 「絆を深める一年にしてほしい」

家族や仲間との信頼関係は言うまでもなく、多様な他者と協働して未来を創造していく必要性がこれまでになく高まっている今だからこそ、誰もが社会の大切な一人であるということを基本にした人間関係を構築することが大切です。生徒と生徒、生徒と職員、職員と職員、あらゆる人間関係において、解けることのない結び目ができる、そのような学校生活を実現するよう、皆さん一人ひとりが「命の軌跡」「人の尊厳」への畏敬の念を胸に刻んでいただきたい。

### 2 「在りたい未来を創造(クリエイト)する力を身につけてほしい」

そのために、「どうせ無理」「あ、それ無理」といった言葉をいったん封印してください。あなたの目の前に、長い長い一直線の道があるとします。ゴールは見えていません。あなたは、1秒を削り出すために努力を重ねるランナーかもしれません。あなたは、道路の修理や清掃など維持管理を生業としている人かもしれません。いずれにしても、終わりの見えない道を目の前にして、あなたは一步も前へ進まずにあきらめますか。どうせ無理、と思って暗い気持ちになりますか。それよりも、努力しましょうよ。前進しましょうよ。疲れたら休めばよい。しかし、休んだらまた走り出す、歩き出す、これが大切です。とことん努力をすれば、今日一日取り組んだことを自分自身で振り返った時に、きっと「まだまだ努力が足りんな」という言葉が出ます。逆に、本当に努力が足りていないときには、不平や不満ばかりが言葉となって出てくるでしょう。できなかった理由を、自分以外の誰かや何かのせいにする言葉が出てくるでしょう。皆さんには、どうしても、「あ～、まだ努力が足りないなあ」という言葉が自然に出てくるくらい、日々の学習や部活動において努力を重ねてほしいのです。砂時計を見たときに、時間が過ぎ去っていく、というふうに見えますか。逆の考え方ができます。落ちてゆく砂は、積もり、重なっていつているのです。時間はどんどん積み重なっていつているのですよ。だからこそ、その時間を大切に。努力をいとわないで。努力を節約しないで、目標に向かって進んでいきましょう。